

令和 5 年名古屋港の港勢

令和 5 年（2023 年）の名古屋港の港勢は、入港船舶隻数、船舶総トン数ともに前年実績を上回り、総取扱貨物量は前年実績を下回りました。

1 入港船舶

入港隻数は 28,302 隻（前年比 2.5%増）、総トン数は 2 億 1,692 万トン（同 6.1%増）と隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

○ 外航船舶

入港隻数は 7,290 隻（同 7.0%増）、総トン数は 1 億 7,792 万トン（同 6.9%増）と、ともに前年実績を上回りました。全体の 5 割以上を占めるコンテナ船においては、入港隻数は 4,000 隻（同 12.0%増）、総トン数は 8,246 万トン（同 13.6%増）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

○ 内航船舶

入港隻数は 21,012 隻（同 1.1%増）、総トン数が 3,901 万トン（同 2.4%増）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を上回りました。

2 海上出入貨物

令和 5 年の総取扱貨物量は、1 億 5,784 万トン（前年比 3.5%減）と前年実績を下回りましたが、平成 14 年から 22 年連続で全国 1 位になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貿貨物取扱量については、1 億 905 万トン（同 0.3%増）と前年並みとなり、平成 12 年から 24 年連続で全国 1 位になりました。

○ 外貿貨物

輸出貨物量は、4,306 万トン（同 2.7%増）と前年実績を上回りました。取扱貨物の上位は完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種で、特に完成自動車、自動車部品の上位 2 品種で全体の 6 割以上を占めています。国・地域別では 1 位が中国で 478 万トン、以下 2 位アメリカ 458 万トン、3 位オーストラリア 302 万トン、4 位タイ 233 万トン、5 位アラブ首長国 229 万トンです。

輸入貨物量は、6,599 万トン（同 1.3%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種は LNG（液化天然ガス）、鉄鉱石、原油、石炭といった天然資源で、全体の 5 割以上を占めています。国・地域別では、1 位がオーストラリアで 1,420 万トン、以下 2 位中国 1,245 万トン、3 位アメリカ 532 万トン、4 位サウジアラビア 380 万トン、5 位カナダ 376 万トンです。

○ 内貿貨物

移出貨物量は 2,435 万トン（前年比 13.2%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種を完成自動車、鉄鋼、重油、揮発油、その他の石油が占めました。移入貨物量は 2,445 万トン（同 8.7%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種を完成自動車、鋼材、セメント、化学薬品、石灰石が占めました。

○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,493 万トン（同 2.0%減）と前年実績を下回り、コンテナ個数は 253 万 TEU（同 0.1%増）と、前年並みとなりました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,235 万トン（同 3.5%増）と前年実績を上回り、輸入は 2,258 万トン（同 6.9%減）と前年実績を下回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、完成自動車、産業機械、その他化学工業品、ゴム製品が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、電気機械、輸送用容器、その他化学工業品が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は 1 位が中国で 399 万トン、以下 2 位アメリカ 332 万トン、3 位タイ 172 万トン、4 位ベトナム 106 万トン、5 位アラブ首長国 104 万トンです。輸入は 1 位が中国で 997 万トン、以下 2 位ベトナム 169 万トン、3 位タイ 150 万トン、4 位アメリカ 126 万トン、5 位インドネシア 104 万トンです。